

2.2. 当院におけるフットケアの実際

東京女子医科大学 看護部¹ 血液浄化療法科² 第四内科³

○武田由貴 (ゆた ゆき) ¹ 佐藤智美¹ 廣川牧子¹ 星井英里¹ 鈴木はるみ¹ 大橋信子¹
秋葉 隆² 新田孝作³

【はじめに】

全透析患者における糖尿病性腎症の割合は 36.6%を占め、年々増加している。当院維持透析患者の糖尿病性腎症の割合は 22.7%である。糖尿病性腎症患者の場合、閉塞性動脈硬化症 (ASO) を合併する率が高い。ASO などの足病変 (痛み、痺れ、間欠性跛行、潰瘍、歩行困難、下肢切断) は患者の QOL を低下させる要因となるため、異常の早期発見・予防行動が必要である。異常の早期発見の目的で、足管理表を作成したため報告する。

【看護の実際】

ASO の評価には足管理表を用い、年 1 回視診・触診・生活状況の聴取を行った。異常徴候が認められた場合、フットケアを行い、必要時には専門外来を受診できるよう指導した。患者のデータベース (SPP・ABI) は 1 冊のファイルに綴じていたが、現在は電子カルテに入力し、多職種間での情報共有がしやすくなり、早めに処置が行えた。

【考察】

足管理表を用い、医療者が同じ視点で観察・評価でき、早めの処置に繋がったことは、このツールは有効であったといえる。